

## 神楽

神楽と書いてカグラと読むが、カグラの語源はカミクラ（神座）・カンクラであると考えられている。神楽を奏する人自身が、神格となって演ずる舞いのいいのである。その点では、本市志賀海神社の八乙女の舞は、世間一般に知られている各地の神楽とは異色のものであるが本来的なものである。そのことは、後章に詳述されるであろうから、ここでは省略する。

現在、県の指定をうけている神楽は、筑紫郡那珂川町山田の伏見神社の氏子で組織されている珍楽社のもの、粕屋郡篠栗町若杉太祖宮の氏子のあいだに伝承されている太祖神楽、築上郡築城町赤幡の赤幡神社の赤幡神楽、北九州市小倉区横代に伝承されている横代神楽の四件である。

珍楽社の岩戸神楽は、主として七月一六日の伏見神社の祭礼に奉納される。江戸時代筑前国内各郡にあった神職中心の神楽が、明治維新後その手を離れたり廃絶したなかで、このは氏子の愛好者が、その滅亡し去ることを惜しんで、珍楽社を組織して保存伝承につとめたもので、資料としては宝暦年間のものである。曲目は神宮・祝詞・多玖佐・四神・高所・神・両刀・荒神・天神・相撲・敷蒔・問答・御弓・猿田彦・磯良・岩戸といろいろである。明治中葉の全盛期には、筑前諸郡から佐賀県にかけて興行したということである。その演技は、神や両刀・多玖佐などのように、各種の採物（たきもの）を手にして舞うもの、相撲や敷蒔のように散楽（さんらく）的な曲技を演ずるもの、荒神や問答のように神々や正邪の神鬼が問答をかわすもの、猿田彦や磯良や岩戸のように劇的な仕組のものなどがある。



福岡県無形文化財 鶴ノ木の獅子舞

太祖神楽は、太祖神社を祭する若杉区の若者が、組入りするときに雅楽座に入るか神楽座に入るか、どちらかを選ぶ。この神楽座は一二、三名で一座を組み、近ごろまで一二種ぐらいを演ずることができた。なかで、「四剣の舞」は、勇壮活潑で注目に値するものがあつた。舞台の四隅を四色の幣で飾り、中央に「てんしき」と称するものを吊して神座の位置を示す。これは、あきらかに陰陽道的な思想による色の配置によるものである。昔は、この神楽は粕屋郡内の神職の一座によつて興行されていたものであるが、大正二年に、時の名人佐々雪（太祖宮神職）翁から、氏子の若者たちが伝習したものである。

珍楽社と太祖神楽は、ほぼ同系のものであり、糸島郡前原町高祖たかすの高祖神楽、市内田島の田島神楽、筑紫野市山家の宝満宮の神楽、粕屋郡新宮町新宮の神楽、同郡宇美町の宇美八幡神社の神楽などは、未指定ではあるが、広い意味での筑前神楽といふことができよう。このうち、市内奈多の志式神社の十一月一日の「はやま神事」に関係の深かつた新宮の神楽はすでに滅亡して、いまやわずかに宇美神楽によつて代行されている現況である。

赤幡神楽は、旧築城郡を代表する神楽である。昔は、本郡の社家で座を作り、小笠原小倉藩主入国後は、小倉の八坂神社の祭礼に、京都郡の社家神楽と隔年に奉納をしていたが、明治初年に社家神楽の廃止にともない、これを惜しんだ岩戸見神社宮司が、他の二、三の社家とともに民間人に習得させたものである。明治七年には赤幡神社の氏子もこれを伝授し、昇殿して神楽を奉仕するようになった。そして、いまや旧築城の神楽はこの赤幡神楽を残すのみとなつた。

演目は、式神楽一二種目、特殊神楽一〇種目が



福岡県無形文化財 赤幡神楽

ある。

横代神楽は、小倉に旧藩時代から伝承されている神楽で、口伝によると元和三年の創始であるという。現存する史料では、正徳五年（一七一五）のものが最古である。内容的には一部に中世風な和歌の朗詠があり、また曲芸的要素も加味されていて、一八種目の舞から構成されている。

筆者はかつて、京都郡犀川町生立八幡宮の祭礼のとき、湯立神楽を見学したことがあるが、これなど、修験山伏の行事と同一であって、一種の神秘的な曲技的な神楽ということができる。一般に筑前・豊前には、まだこの種の岩戸神楽ともいうべき芸能が残存しているが、いずれも衰退消滅の危機に瀕しつつあることは掩いきれない事実である。今日ほど、その記録作成の急を要するときはない。そして、この芸能に伴う、面・衣裳・採物・台本・関係文書等の保存にも、鋭意努力をすべきときであると思う。



福岡県無形文化財 横代神楽

## 盆踊

盆踊または盆踊系のものとして、県の指定を受けているものは、遠賀川の中・下流地域に多い。流れに従って列挙してみるならば、直方市の多賀神社の日若踊、同市植木の三申踊、北九州市八幡区木屋ノ瀬町の宿場踊（木屋瀬盆踊）、遠賀郡芦屋町のはねそなどがそれぞれである。このうち三申踊は、日若踊や宿場踊など、ひろく中流地帯に影響を与えたものとして特に注目に値するものである。まず、その点で、三申踊から紹介をしよう。

編集・発行 福岡市教育委員会  
社会教育部文化課

印刷 ダイヤモンド印刷KK

刊行 昭和48年3月20日

¥1,000

能藝傳統